

第8回 過労死防止学会

過労死ゼロ社会の構築に向けた 過労死等防止対策ホームページの 統一的基準の提案

過労死ゼロ 代表 本多雄二

2022.9.10

北海道、東北の自治体のホームページ

2014年の過労死等防止対策推進法施行後のホームページなし（2022,5,31現在）

■ 北海道 | 札幌市 | 函館市 | 旭川市 | 小樽市

2014年の過労死等防止対策推進法施行後のホームページあり（2022,5,31現在）

■ 青森県 | 青森市 | 八戸市
■ 秋田県 | 秋田市
■ 岩手県 | 盛岡市
■ 宮城県 | 仙台市
■ 山形県 | 山形市
■ 福島県 | 福島市 | 郡山市 | いわき市

国連の提唱するSDGsについて

国連の提唱するSDGs

2015年9月の国連サミットで採択された目標群であり、国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年で達成することが求められています。

日本の経団連の企業行動憲章に採用

目標8「働きがいも経済成長も」は、日本における働き方改革と繋がり、世界中の目標になっている。

現状では過労死等防止対策に向けたホームページ制作に関する統一的基準が存在せず、住む地域により過労死等に至るリスクや住民の理解に大きな差がある。

過労死等防止対策ホームページに関する統一的基準の11項目の提案

- 1 ホームページ作成され、厚生労働省民間団体3箇所のリンクがある。
- 2 過労死等防止対策推進法の説明がある。また、国の施策、自治体の責務、民間団体の連携が行われている。
- 3 各自治体に自殺等の様々な相談窓口の周知がされている。
- 4 各自治体の管轄する労働局のリンクをしている。
- 5 毎年開催される過労死等防止対策推進シンポジウムの案内がある。案内を過年度で過去の案内を掲載していただきながら公表し、今年のシンポジウム案内が決まり次第、差し替える。
- 6 自治体の首長のメッセージを作成し、毎年更新している。
- 7 北海道知事や東北の各県知事のメッセージを作成し、毎年更新している。
- 8 管轄する労働局長のメッセージを作成し、毎年更新している。
- 9 各保健所管轄の図書館の「働き方考える選書一覧」を作成し、公表している。
- 10 ホームページ作成の担当先の部署名が公表され、電話番号、メールなどで連絡できる体制になっている。
- 11 国際連合広報センターのSDGs目標8が掲載しており、リンクをしている。

11項目の提案における自治体別対応表(1/2)

令和4年7月31日現在

	北海道	札幌市	函館市	旭川市	小樽市	青森県	青森市	八戸市	岩手県	盛岡市
1	○	×	×	×	×	△	○	△	○	○
2	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
3	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○
4	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
5	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
11	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

11項目の提案における自治体別対応表(2/2)

令和4年7月31日現在

	宮城県	仙台市	秋田県	秋田市	山形県	山形市	福島県	福島市	郡山市	いわき市
1	○	○	△	○	○	○	△	○	△	△
2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
3	○	○	×	○	×	○	○	○	○	△
4	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
5	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×
6	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
7	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
10	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
11	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

過労死ゼロの社会に求めるSDGsについて

1 貧困をなくそう	第1 貧困をなくそう	8 働きがいも経済成長も	第6 働きがいも経済成長も
2 飢餓をゼロに	第2 飢餓をゼロに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	第7 産業と技術革新の基盤をつくろう
3 すべての人に健康と福祉を	第3 すべての人に健康と福祉を	10 人との不平等をなくそう	第8 人との不平等をなくそう
4 質の高い教育をみんなに	第4 質の高い教育をみんなに	11 住み続けられるまちづくりを	第9 住み続けられるまちづくりを
5 ジェンダー平等を実現しよう	第5 ジェンダー平等を実現しよう	12 つくる責任つかう責任	第10 つくる責任つかう責任

おわりに

全国で起きている飢餓、孤独死、自殺の背景には、生活保護の利用率、捕獲率の低さが影響していると考えられています。SDGs未来都市(内閣府地方創生推進室)の取り組みが必要とされています。

SDG1 貧困	SDG2 飢餓	SDG5 ジェンダー	SDG10 不平等	SDG16 平和
------------	------------	---------------	--------------	-------------

しかし取り組みレベルは低く、2021年現在、全国の未来都市は、北海道、東北の保健所運営する都市のうち、札幌市、仙台市、福島市、郡山市しかありません。

自殺問題は、複合的な問題を解決する ワンストップ支援が必須と言えます

Point1

全国の労働局を通して、保健所運営する都市の自治体のホームページ作成による周知が最低限必要と考えられます

Point2

マイナンバーカードの行政窓口相談(よろず相談カードを作成、過労死ゼロのホームページよりダウンロード可能)記録の必要性により、生活保護、労災、年金、障害、介護、保育、多重債務等の受付時の不適切な対応を撲滅する必要があります

Point3

国が自治体のホームページ作成のソフト配布してデジタル庁も含めた国の真摯な取組に期待します

全国読書感想文コンクールを実施しよう

<https://www.karoushizero.jp>



全国の保健所が運営する
都市の図書館に
働き方を考える選書一覧
を作成し、**全国読書感想文
コンクール**を実施しましょう！

毎年の、**過労死等防止対策
推進シンポジウム**で
表彰しましょう！



過労死ゼロ社会を皆さんで実現しましょう！

ご静聴有難うございました

